

主要諸元

タイプ:TYPE R	
車名・型式:ホンダ・6BA-FL5	
駆動方式:FF	
トランスミッション:6速マニュアル	
寸法・重量・乗車定員	全長/全幅/全高:4.595m/1.890m/1.405m
	ホイールベース:2.735m
	トレッド 前/後:1.625m/1.615m
	最低地上高:0.125m
	車両重量:1,430kg
	乗車定員:4名
エンジン	客室内寸法 長さ/幅/高さ:1.915m/1.545m/1.145m
	エンジン型式:K20C
	エンジン種類・シリンダー数及び配置:水冷直列4気筒横置
	弁機構:DOHC チェーン駆動 吸気2 排気2
	総排気量:1.995L
	内径×行程:86.0mm×85.9mm
	圧縮比:9.8
	燃料供給装置形式:電子制御燃料噴射式(ホンダPGM-FI)

■燃料消費率は定められた試験条件での値です。お客様の使用環境(気象、渋滞等)や運転方法(急発進、エアコン使用等)に応じて燃料消費率は異なります。■WLTCモード:市街地、郊外、高速道路の各走行モードを平均的な使用時間配分で構成した国際的な走行モード。市街地モード:信号や渋滞等の影響を受ける比較的低速な走行を想定。郊外モード:信号や渋滞等の影響をあまり受けない走行を想定。高速道路モード:高速道路等での走行を想定。■主要諸元は道路運送車両法による型式指定申請書数値。■F1™は、Formula One グループの企業であるFormula One Licensing BVの商標です。■FORMULA 1, F1, FIA FORMULA ONE WORLD CHAMPIONSHIP, GRAND PRIX, PADDOCK CLUB and related marks are trademarks of Formula One Licensing BV, a Formula 1 company. All rights reserved. ■ALCANTARA®、アルカンタラ®はAlcantara S.p.A.の登録商標です。■ラックス スエード®はセーレン株式会社の登録商標です。■CIVIC、TYPE R、INTEGRA、NSX、Honda LogR、Honda SENSING、LKAS、PGM-FI、VSA、VTECは本田技研工業株式会社の商標です。■製造事業者:本田技研工業株式会社

エンジン	使用燃料種類:無鉛プレミアムガソリン
	燃料タンク容量:47L
	最高出力:243kW[330PS]/6,500rpm
性能	最大トルク:420N・m[42.8kgf・m]/2,600rpm-4,000rpm
	 燃料消費率(国土交通省審査値):12.5km/L 市街地モード(WLTC-L):8.6km/L 郊外モード(WLTC-M):13.1km/L 高速道路モード(WLTC-H):15.0km/L
	主要燃費向上対策:直噴エンジン、可変バルブタイミング、電動パワーステアリング
	最小回転半径:5.9m
動力伝達・走行装置	変速比:1速3.625/2速2.115/3速1.529/ 4速1.125/5速0.911/6速0.734/後退3.757
	減速比:3.842
	ステアリング装置形式:ラック・ピニオン式 (電動パワーステアリング仕様)
	タイヤ 前・後:265/30ZR19 93Y
	主ブレーキの種類・形式 前/後:油圧式ベンチレーテッドディスク/油圧式ディスク
	サスペンション方式 前/後:マクファーソン式/マルチリンク式
	スタビライザー形式 前・後:トーション・バー式

環境仕様

基礎情報	車両型式		6BA-FL5
	原動機	型式	K20C
		総排気量(L)	1.995
	駆動装置	駆動方式	FF
		変速機	6MT
環境性能情報	燃料消費率*1	 燃費(km/L)*2	12.5
		市街地モード(WLTC-L)	8.6
		郊外モード(WLTC-M)	13.1
		高速道路モード(WLTC-H)	15.0
		CO ₂ 排出量(g/km) (燃費からの換算値)	185.7
	排出ガス	適合規制・認定レベル	平成30年排出ガス基準75%低減
		試験モード	WLTCモード
		認定基準値 (単位:g/km)	CO 1.15
			NMHC 0.025
			NOx 0.013
		参考	—

*1 燃料消費率は定められた試験条件での値です。お客様の使用環境(気象、渋滞等)や運転方法(急発進、エアコン使用等)に応じて燃料消費率は異なります。*2 WLTCモード:市街地、郊外、高速道路の各走行モードを平均的な使用時間配分で構成した国際的な走行モード。市街地モード:信号や渋滞等の影響を受ける比較的低速な走行を想定。郊外モード:信号や渋滞等の影響をあまり受けない走行を想定。高速道路モード:高速道路等での走行を想定。*3 GWP:Global Warming Potential(地球温暖化係数) *4 フロン法において、カーエアコン冷媒は、2023年度までにGWP150以下(対象の乗用車における国内向け年間出荷台数の加重平均値)にすることを求められております。*5 1996年乗用車の業界平均使用量は1850 g(バッテリーを除く)。*6 交通安全上必須な部品の極微量使用を除外。*7 ポリプロピレン、ポリエチレンなどの熱可塑性プラスチック。*8「新型車のリサイクル可能率の定義と算出方法のガイドライン(1998年 自工会)」に基づき算出。※この環境仕様書は2022年9月現在のものです。

環境性能情報	適合騒音規制レベル		平成28年騒音規制 規制値:加速走行73dB (A)
	エアコン冷媒	種類/GWP値*3	HFO-1234yf/1*4
		使用量	470g
	車室内VOC		自工会目標達成 (厚生労働省室内濃度指針値以下)
	環境負荷物質削減	鉛	自工会2006年目標達成 (1996年使用量*5の1/10)
水銀		自工会目標達成 (2005年1月以降使用禁止*6)	
六価クロム		自工会目標達成 (2008年1月以降使用禁止)	
カドミウム		自工会目標達成 (2007年1月以降使用禁止)	
環境への取り組み	リサイクル	樹脂、ゴム部品への 材料表示	100g以上の樹脂部品全て
		リサイクルし易い材料*7 を使用した部品	ウインドウモール類などの 内外装部品
		再生材を使用している部品	バッテリーボックス
		リサイクル可能率	車全体で95%以上*8
	その他	グリーン購入法適合状況	—



「平成30年排出ガス基準75%低減レベル」認定車



※このラベルはフロン法に基づく指定製品に使用されている冷媒フロンの環境影響度として用いられている地球温暖化係数(GWP)について、定められた目標への達成度を表したものです。